

出水期に備え防災訓練を行いました。 ～牟田辺遊水地の水防訓練より～

武雄河川事務所 最近の話題

平成27年5月27日（水）、牟田辺遊水地（多久市南多久町）で出水による遊水地運用を想定した道路通行止訓練を実施しました。

武雄河川事務所では、六角川水系の洪水調節施設である牟田辺遊水地において、洪水時の巡視経路の確認、遊水地内の市道等の通行止訓練、警報装置の操作訓練等を行いました。

当日は、関係機関が各々の役割分担や連絡系統を確認し、地域の安心・安全のため連携して遊水地を管理することを申し合わせました。

なお、当日の訓練及び確認内容は次の通りです。

- ・巡視経路の確認（2班体制）
- ・道路通行止め完了までの所要時間の確認
- ・道路通行止め箇所及び、通行止めポスト、鎖の損傷、動作確認
- ・河川情報表示装置の点検、確認

- ◆参加者：佐賀県佐賀土木事務所、多久市、災害時協定業者 武雄河川事務所 計25名
- ◆訓練内容：巡視経路・通行止時間の確認、役割分担・連絡系統の確認、警報装置操作訓練等
- ※マスコミ取材：テレビ（STS）、新聞（佐賀新聞、建設新聞）

◆全体説明（石橋副所長の挨拶及び訓練概要の説明）



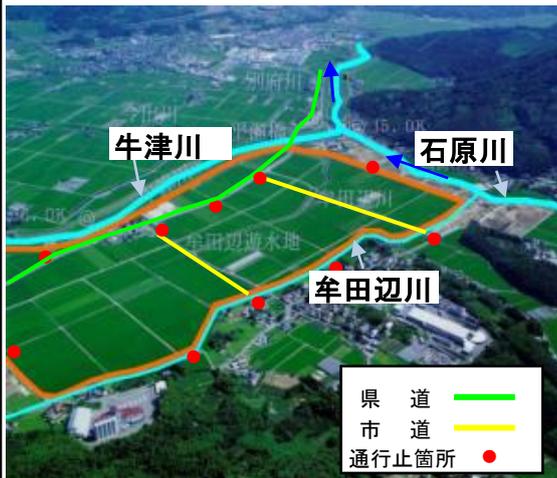
◆道路通行止作業の確認状況



◆河川情報表示装置の点検、確認状況



◆河川情報表示装置（CCTV監視制御端末）の操作説明状況



牟田辺遊水地とは・・・

佐賀県多久市牟田辺地区は、牛津川、石原川などの河川が合流しているうえ、堤防がない区間だったために、洪水時には河川が逆流して堤内地に流れ込んでいました。

牟田辺遊水地は、この特性を利用して整備したもので、洪水の一部を越流堤から計画的に遊水地内に導き、一時的に洪水を貯留することによって洪水調節を行う施設です。

平成14年6月に完成し、平成21年7月と平成24年7月の出水で洪水の一部を遊水地内に貯留し、下流域の洪水被害を低減しました。

なお、施設規模は、以下の通りです。

- 洪水調節容量 90万m³
- 遊水地面積 53.4ha

編集後記：今回の訓練で思ったこと…。 → 「備えあれば…」

今回の操作訓練で、一連の作業内容や必要機材等の確認が出来ました。出水時には、万全の体制で臨みます。訓練に参加された関係機関の皆様、お疲れ様でした。本番時には、よろしくお願いします。

訓練実施責任者談